

令和元年度 ホームヘルプの質を高める研修会 開催要綱

1. 趣旨

わが国では、利用者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの深化が求められています。訪問介護は、地域包括ケアシステムの深化にあたって、関係者間の連携・協働の要であると同時に、在宅ケアの最前線かつ最後の砦として、その果たす役割はますます大きくなっています。

また、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年には、高齢人口がピークを迎え、介護サービスの需要はさらに高まることが見込まれています。こうした状況を踏まえると、利用者の希望を十分に理解するとともに、医療と介護のさらなる連携や役割分担を通して、利用者の自立支援や重度化防止、看取りに向けたケアの取り組みを進めることが重要になります。

本研修会は、ホームヘルプサービスをめぐる政策動向について学ぶとともに、終末期ケアにおけるアプローチ方法である、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）という考え方やそれを踏まえた連携のあり方や実践を中心に、ホームヘルプサービスの質の向上に資することを目的に開催します。

2. 主催

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国ホームヘルパー協議会

3. 期日

令和2年2月23日(日)～24日(月)

4. 会場

**全国社会福祉協議会 5階 第3～5会議室
(〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階)**

5. 参加対象

ホームヘルプサービス事業関係者(サービス提供責任者、管理者等)

6. 定員

100名(先着順)

7. 参加費

全国ホームヘルパー協議会会員 7,000円 会員外 10,000円

8. 情報交換会

1,000円(23日/希望者のみ)

9. 内 容

◆1日目 2月23日(日)13:30～17:30

- 12:30 受付開始
- 13:30 開会・オリエンテーション・挨拶
- 13:40～14:40 **行政説明「介護保険制度の動向とホームヘルプサービスへの期待」**
厚生労働省 老健局 振興課
- 14:40～15:00 休憩
- 15:00～17:30 **講義・グループ討議**
「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは何か
～ターミナル期における、訪問介護員に求められる
医療との連携のあり方を考える～」
- アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは、自らが望む最終段階の医療・ケアについて、事前に考え、医療・ケアチーム等と話し合いを重ね、関係者間で共有する取組をさします。これは、エンドオブライフケアの中核となるアプローチ方法であり、地域で展開される必要があります。
- それゆえ、利用者の在宅生活を支える訪問介護の実践においても、ACPの考え方を踏まえたサービスを提供することが有効であると考えられますが、医療分野とは違い、介護分野においてはACPの理解・普及はまだまだ進んでいない実態があります。
- 本講義では、ACPという考え方を学ぶとともに、ACPの考え方を踏まえた訪問介護サービスの提供事例を紹介することで、各現場での今後の実践方法について参加者全員で考えます。
- 講 師：西川 満則 氏(国立長寿医療研究センター
緩和ケア診療部／エンドオブライフケアチーム 医師)
大城 京子 氏(快護相談所和び咲び 副所長・介護支援専門員)
- 実践報告：永井 恵 氏(JA あいち知多訪問介護センターあい愛おおぶ
サービス提供責任者)
- 17:45～19:00 情報交換会

◆2日目 2月24日(月)9:00～12:00

- 9:00～12:00 **実践報告・グループ討議**
「自立支援・重度化防止に向けて求められること
～リハビリテーションの専門職との連携について考える～」
- 介護サービス需要のさらなる増加が見込まれるなか、利用者の自立支援・重度化防止に向けて重要になるのが、リハビリテーションの専門職との連携です。リハビリテーションの専門職の介入により、的確な機能訓練を実施することの報酬上の評価については、生活機能向上連携加算が創設されていますが、訪問介護事業所の取得率は全国的に低調です。取得しているところでは、リハビリテーションの専門職と連携することで利用者の自立支援・重度化防止をはじめ、目的に沿った取り組みを行い、成果を上げている事業所があります。
- 本プログラムでは、同加算を取得した経験のある事業所が、どのような目的を持って加算を取得し、リハビリテーションの専門職や介護支援専門員などと連携したのか、その具体的な内容を共有しつつ、医療と介護のさらなる連携に向け取り組むべきポイントや方法を参加者全員で考えます。
- 実践報告：大田 一美氏(豊橋市社会福祉協議会 サービス提供責任者)
田尻 亨 氏(熊本市社会福祉事業団中央ヘルパー事業所 所長)
- 助言者：山口 智晴氏(群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部 教授)

10. 申込締切

2月7日(金) ※定員に達し次第締め切り

11. 参加申し込み

「参加申込・宿泊のご案内」をご覧のうえ、別紙申込書により、名鉄観光 MICE センターにお申し込みください。

12. 問合せ先

○内容に関する問い合わせ先

全国社会福祉協議会 地域福祉部 全国ホームヘルパー協議会 担当: 赤坂、吉田
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL 03-3581-4655 FAX 03-3581-7858
Eメール: z-helperkyo@shakyo.or.jp

○参加申し込み、宿泊等に関する問い合わせ先

名鉄観光サービス株式会社 MICE センター 担当: 波多野、柴田
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル LB 階
TEL 03-3595-1121 FAX 03-3595-1119

□ 会場のご案内



- ・地下鉄 銀座線「虎ノ門駅」5番出口より徒歩5分
- ・地下鉄 千代田線／丸の内線／日比谷線 「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分
- ・地下鉄 千代田線／丸の内線 「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分